

ワークショップで
話そう 一歩踏み出そう

NPO法人マンションサポート
愛知県名古屋市 あいち



今すぐ準備！ マンション 「在宅避難」

震災後の被災生活を
より安全 安心なものに

東日本大震災のとき、多くの人が避難所に身を寄せましたが
その何倍もの人が電気や水道、ガスが復旧するまでの間を
自宅ですごしました。

わたしたちは、一つでも多くのマンション管理組合に
「在宅避難」の準備を進めていただこうと

防災計画の作成や訓練実施の支援に取り組んでいます。

今回、当会のこれまでの取り組みが評価され、内閣府が主催する
日本最大規模の防災イベントに出展の機会をいただきました。

他のマンションに暮らす人と意見を交わし
具体的な行動のヒントをつかみませんか？

参加
無料

プログラム

●10:00～

事前準備の大切さを、実例とともに
学ぶミニ講演

●10:15～

グループに分かれ、備蓄品や被災
生活ルールなど、興味のあるテーマ
で意見交換するワークショップ

●10:55～

各グループの発表

●11:20～

全体講評 お疲れさまでした！

2019.10.20(日)



10:00～11:30 「ぼうさいこくたい 2019」出展

名古屋市ささしまライブエリア（あおなみ線「ささしまライブ駅」すぐ）

名古屋コンベンションホール 201 会議室

ワークショップに参加を希望される方は、電話052(804)4600かファクス052(893)6620、メール
info@nagoya-mankansupport.jpで、お名前、参加人数、マンション名、住所、電話、メールア
ドレスをサポートあいちにお知らせください。その際、希望のワークショップを①名簿作り②備品
備蓄品③被災対応組織④防災訓練⑤被災生活ルール、の中からお選びください。

今すぐチェック！ マンション 「防災度」



4月、国交省から平成30年度マンション総合調査(5年ごと)の結果が発表されました。それによるとマンション管理に関して取り組むべき課題として区分所有者が挙げたのは、「**防災対策**」が**33.6%**と最も多く、「長期修繕計画の作成または見直し」の32.0%、「修繕積立金額の見直し」の28.9%を上回りました。

一方、管理組合の大規模災害への対応で、一番多かったのは「**定期的に防災訓練を実施している**」**44.1%**、次に「**災害時の避難場所を周知し**

ている」**30.3%**でした。

防災対策が必要なのは分かっているけれど、実際の行動となると、まだまだといったところでしょうか。

在宅避難を少しでも安全な、安心できるものにするためには、**事前の準備**が欠かせません。自治体や自治会に任せておけば何とかなる、と思っていませんか？ **基本は**、それぞれの家庭で備える「**自助**」です。**そして「共助」**。マンションが抱える「**リスク**」を洗い出し、それぞれの実情に合わせた防災対策を目指しましょう。

😊 あなたのマンションの現在の防災度は？ 😊

✓ リスクを把握していますか？

- ①立地 ☐ はい 😊 ☐ いいえ
②建物・設備 ☐ はい 😊 ☐ いいえ
③コミュニティー ☐ 良好 😊 ☐ あまり良くない

いくつ 😊 に✓がつきましたか？ 今後の防災対策を進める際の参考にしてください。

10～12 この調子で、さらにレベルアップを

7～9 かなり高いレベル。足りない部分も検討を

4～6 できることが、ほかにも色々ありそうです

3以下 管理組合でさっそく話し合いを

✓ 防災対策の現状は？

- ④居住者名簿 ☐ ある 😊 ☐ ない
⑤要支援者 ☐ 把握している 😊 ☐ 把握していない
⑥バール、ヘルメットなどの備品 ☐ ある程度そろっている 😊 ☐ そろっていない
⑦水、非常食、簡易トイレなど備蓄品 ☐ ある程度そろっている 😊 ☐ そろっていない
⑧被災対応組織 ☐ 決めてある 😊 ☐ 決めていない
⑨被災行動マニュアル ☐ できている 😊 ☐ できていない
⑩被災生活ルール ☐ できている 😊 ☐ できていない
⑪防災訓練／地域の訓練 ☐ 参加 😊 ☐ 不参加
マンション独自の訓練 ☐ 実施 😊 ☐ 未実施
⑫地震保険 ☐ かけている 😊 ☐ かけていない

